

第3回 学校運営協議会 記録

		学校名	横手市立平鹿中学校	
開催日時・時間・場所		令和7年2月5日（水）・午後3時15分～・平鹿中学校会議室		
出席者数	8名		欠席者数	1名
協議案件	・学校評価等、CS評価アンケートから見える課題と解決策について ・来年度への提言について ・今後の取組について			
協議の主な内容	<p>【学校評価等、CS評価アンケートから見える課題と解決策について】</p> <p>○保育園訪問では、園児も楽しく過ごすことができた。少子化、子ども減少の時代には必要な学習活動ではないか。地元の中学生の力は大きいと感じる。</p> <p>○槻の木ファンタジー、あやめまつりへのボランティア活動に感謝している。生徒たちは一生懸命お客様へ対応してくれた。</p> <p>●「しぶとさ」を重点に行事や活動で力を伸ばしていくことが必要。それにより勉強と生活の質の向上につながる。</p> <p>●委員として、CSとしての関わり、距離感が難しい。学校が困っていることを言ってほしい。</p> <p>●コーディネーターとして、地域の方に依頼をすると、学校からの直接の依頼でないことに疑問を感じる住民もいる。そのため、コミュニティ・スクールについて説明するところから始まる。</p> <p>・学校では、来年度から学級担任ローテーション制を導入する予定である。試行錯誤しながら、生徒にとって良いシステムにしていきたい。</p> <p>【来年度への提言について】</p> <p>☆職場体験先の事業所の開拓については、まずは今年度のリストを基にさらに開拓できる場所がないかを各委員が探し、リストを増やしていくことができるのではないかな。</p> <p>☆「子育てサポートの会」が成果を上げている。他にも（例えば、特別な支援を要する生徒の親）が軽減することができる会もあるのではないかな。</p> <p>☆浅舞地区交流センターが来年度より自主運営組織に切り替わる。これまで以上にイベント等で学校との関わりが多くなる可能性がある。ぜひご協力をいただきたい。</p> <p>☆コーディネーターとして、他の地域のコーディネーターとの相談を受けることがある。他の地域の学校運営協議会との交流を図ることも考えられるのではないかな。</p> <p>【今後の取組について】</p> <p>・平鹿地区に全戸配布する「コミュニティ・スクールだより」の第2号は、3月頃予定している。内容は、ボランティア活動の内容と生徒の感想、子育てサポートの会の取組について掲載する予定である。</p> <p>・卒業証書授与式に参加していただき、生徒の晴れ舞台をご覧いただきたい。</p> <p>【小西校長より】</p> <p>・課題はあったが、生徒は前向きな生活をして成長することができた。</p> <p>・来年度の第1回学校運営協議会では、学校運営協議会委員、教員、生徒などで熟議ができればと考えている。</p> <p>・今年度コミュニティ・スクールによる地域との関わりが不十分であった。その分来年度は注力したい。</p>			
○これまでの取組を継続し、今後、実践につなげられそうなこと ●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと ☆今後の取組への提言等				
次回の連絡	来年度の第1回学校運営協議会は5月8日を予定している。			
記録者	平鹿中学校 教頭 長崎 晋			